

講義科目名称： 保育実習 I B

授業コード：

英文科目名称： Nurturing Practice IB

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
黒澤 祐介, 戸松 玲子			
添付ファイル			

科目の概要	保育実習 I Bは保育所等以外の児童福祉施設等での実習を行う。乳幼児を対象に主に日中の保育を担う保育所等と異なり、児童福祉施設等での実習では施設種別の多様性を理解し、配属される施設の機能や多様な専門性をもつ職員の専門性などについて理解する。配属先の状況について理解を深めたうえで指導担当職員の指導の下に実習を進めていく。
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の役割と機能 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設における子どもの生活と保育士の援助やかかわり (2) 施設の役割と機能 2 子どもの理解 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの観察とその記録 (2) 個々の状態に応じた援助や関わり 3 施設における子どもの生活と環境 <ol style="list-style-type: none"> (1) 計画に基づく活動や援助 (2) 子どもの心身の状態に応じた生活と対応 (3) 子どもの活動と環境 (4) 健康管理、安全対策の理解 4 計画と記録 <ol style="list-style-type: none"> (1) 支援計画の理解と活用 (2) 記録に基づく省察・自己評価 5 専門職としての保育士の役割と倫理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携 (3) 保育士の役割と倫理
学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する 2. 観察や子どもとの関りを通して子どもへの理解を深める 3. 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する 4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する
授業の方法	児童福祉施設等における実習に10日間、かつ80時間以上参加する
成績評価の方法	実習先による評価(90%)、実習ノートの内容および面談内容(10%)
教科書・テキスト	大阪青山大学子ども教育学科教育・保育実習ハンドブック 保育所・幼稚園・児童福祉施設実習用 大阪青山大学 子ども教育学科 保育実習ノート
参考書	
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	施設実習に参加するにあたって、厚生労働省が定めた社会的養護関連施設の「指針」および「運営ハンドブック」を参照しておくこと
履修上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に学ぶ姿勢をもって実習に参加すること ・実習参加条件を満たさない場合には、参加できない ・実習ハンドブックをよく読むこと
オフィスアワー	火曜日3限
担当教員への連絡方法	y-kurosawa@osaka-aoyama.ac.jp
その他	